

「限界決めず挑戦を」

可児署
研修会 バローの田代会長講演



「自ら限界を決めない」と署員らに語るバローホールディングス会長兼CEOの田代正美さん＝可児署

可児署は17日、バローホールディングス(HD)会長兼CEOの田代正美さん(75)を講師に迎えた研修会を同署で開いた。署員ら約80人を前に、「自ら限界を決める必要はない。挑戦して考えれば、必ず知恵は出てくる」と自らの経営哲学にも通じる言葉を贈った。

同署が行う外部講師を迎えた研修会で、バローHDの人材開発センターや伊藤

青少年育成奨学会の武道場が可児市にあることなどから、田代さんに講師を依頼した。

バローに入社する前、田代さんは大手制御機器メーカーに勤務していたことを振り返り「最初に働いた会社物の考え方が、仕事のやり方のDNAとなる。自動制御は何かあった時に安全側に倒れる。新たなことに挑んでトラブルが起きた時には、安全サイドに倒れ

ることを考えている。信用を失わなければ、また挑戦することができると、自身の考え方を示した。

また、織物の縦糸に例えて、緩まずに貫いた考えを持つ大切さを説き「皆さんは使命感から警察官になったのではないだろうか。これだけは曲げてはいけないという警察にとっての縦糸が何なのかを考え、大切にしてほしい」と、地域住民の治安を守る警察官らを激励した。
(小森孝美)